

介護と仕事のワークライフバランスの経済分析

2018年度研究報告書

本研究は文部科学省科学研究費補助金(課題番号 : 16K03701)を受けて行っている。

研究

では、『就業構造基本調査』の個票を目的外利用しているが、集計方法の違いから公表値と異なる場合がある。

岸田 研作

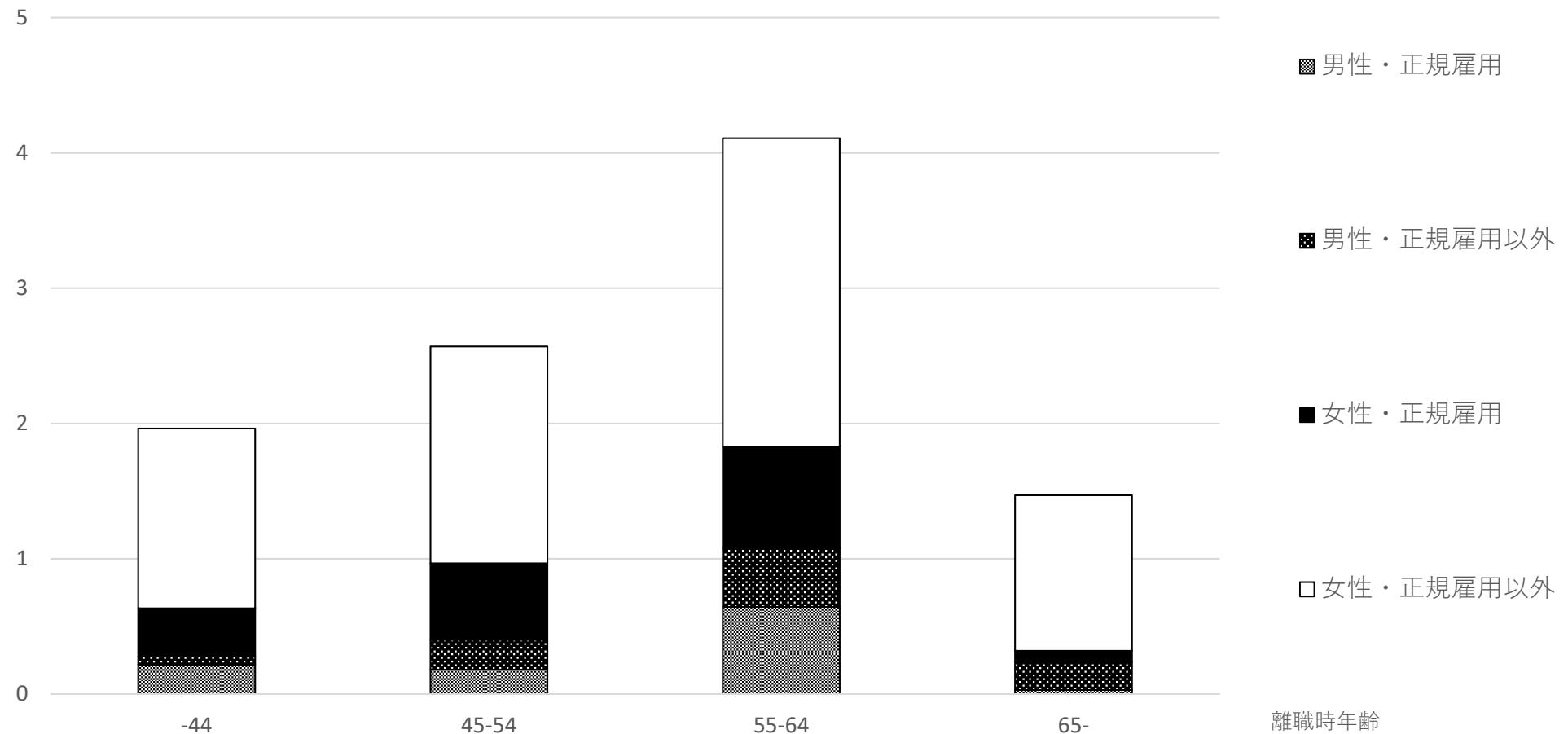
岡山大学大学院社会文化科学研究科・教授

『就業構造基本調査』(2012年)を用いて、介護離職者の再就業の実態把握を行った。まず、カプランマイヤー法による生存関数を用いて就業再開率を推定した。その結果に基づくと、年間の介護離職者約10万人のうち、離職後2年時点の就業再開者数は約2万6,400人である。それ以降に就業を再開する者もいることを考慮すると、労働市場からの完全退出数は7万3,600人以下である。また、完全退出者の6割強は55歳以上である。65歳以上の就業再開者はほとんどいない一方、労働市場から完全退出した場合の機会費用が高い50代前半までの年齢層では、半数弱から3分の1が就業を再開していた。しかし、介護が終わっても就業を再開しない者がおり、それらの者の就業率は、経済環境や「市場の摩擦」では説明できない水準までにしか回復していなかった。次に、介護離職前後の就業状態の変化の決定要因について多項ロジットモデルによる分析を行った。その結果、介護離職者の再就業の形態は、前職・正規雇用で離職時年齢が若い男性は正規雇用が比較的多く、前職・正規雇用以外や離職時年齢が高いものは正規雇用以外が多いことがわかった。さらに、無配偶の男性介護離職者は、有配偶者より無業となる確率が高かった。

キーワード：労働政策一般、労働移動、社会保障一般

(万人)

図1 性別・前職の就業形態別の介護離職者数



注： 2011年10月以降の離職者。標本数: 974。

出所：『就業構造基本調査』(2002年)を特別集計。以下、同様。

図2 就業再開率：全標本

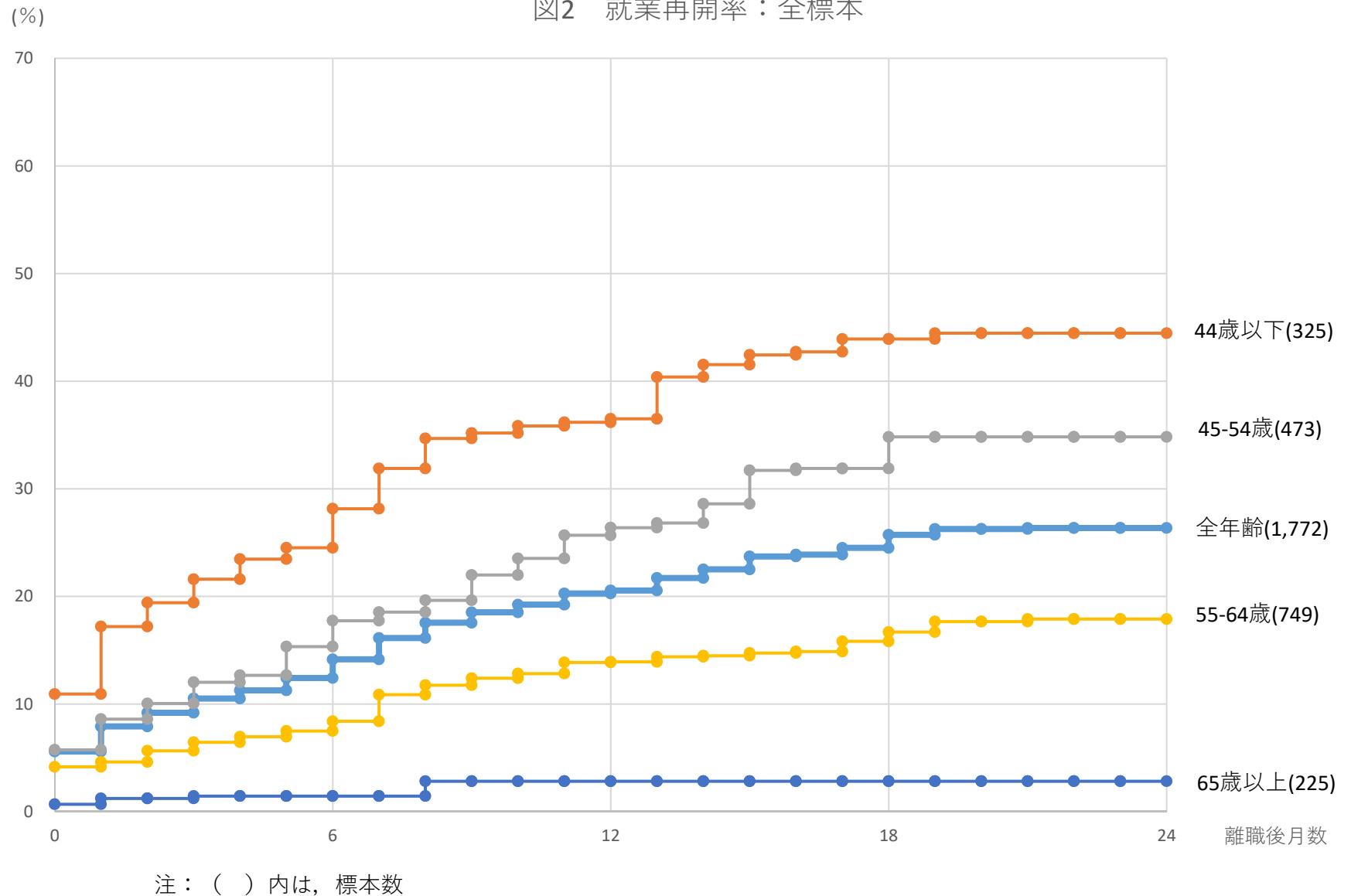
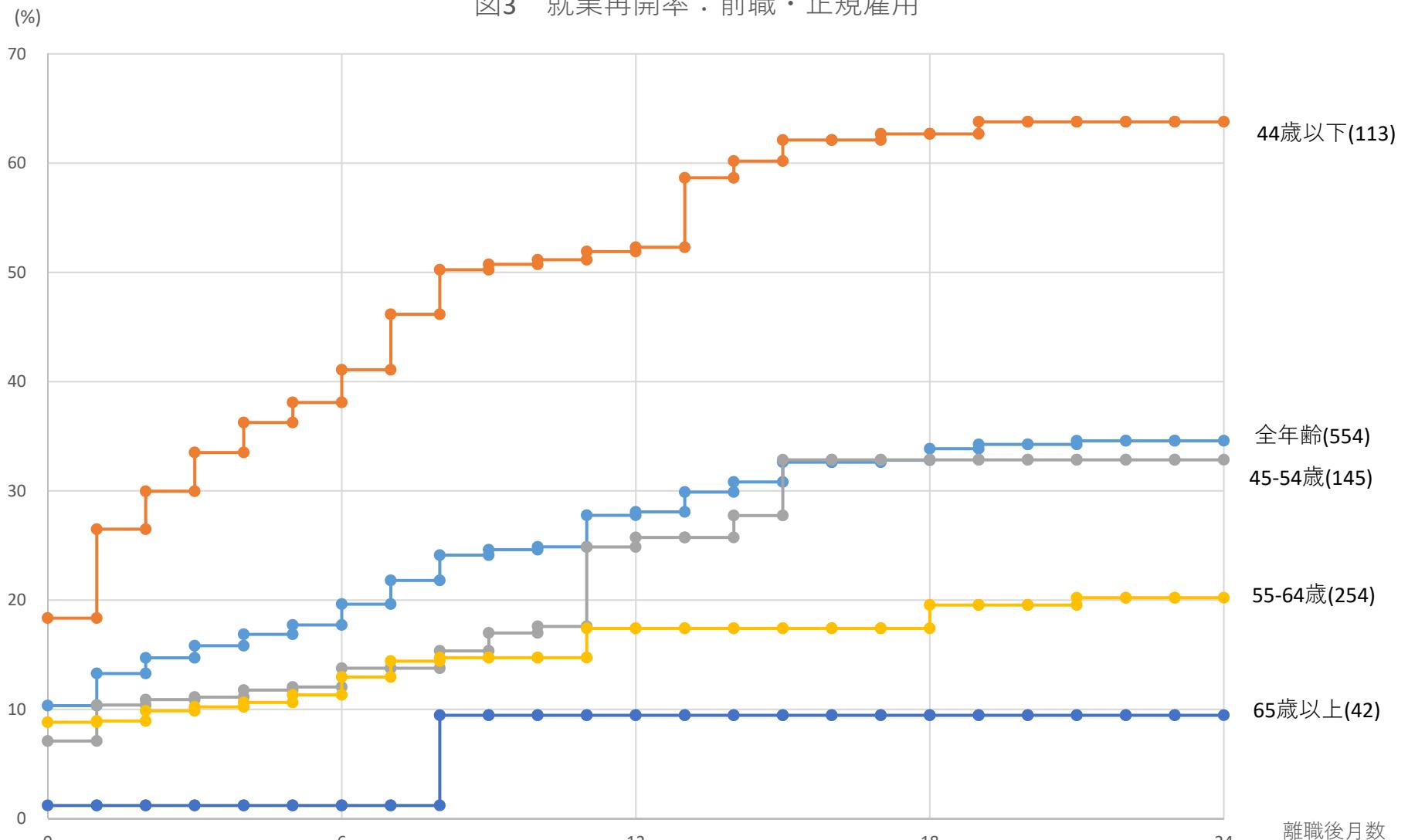
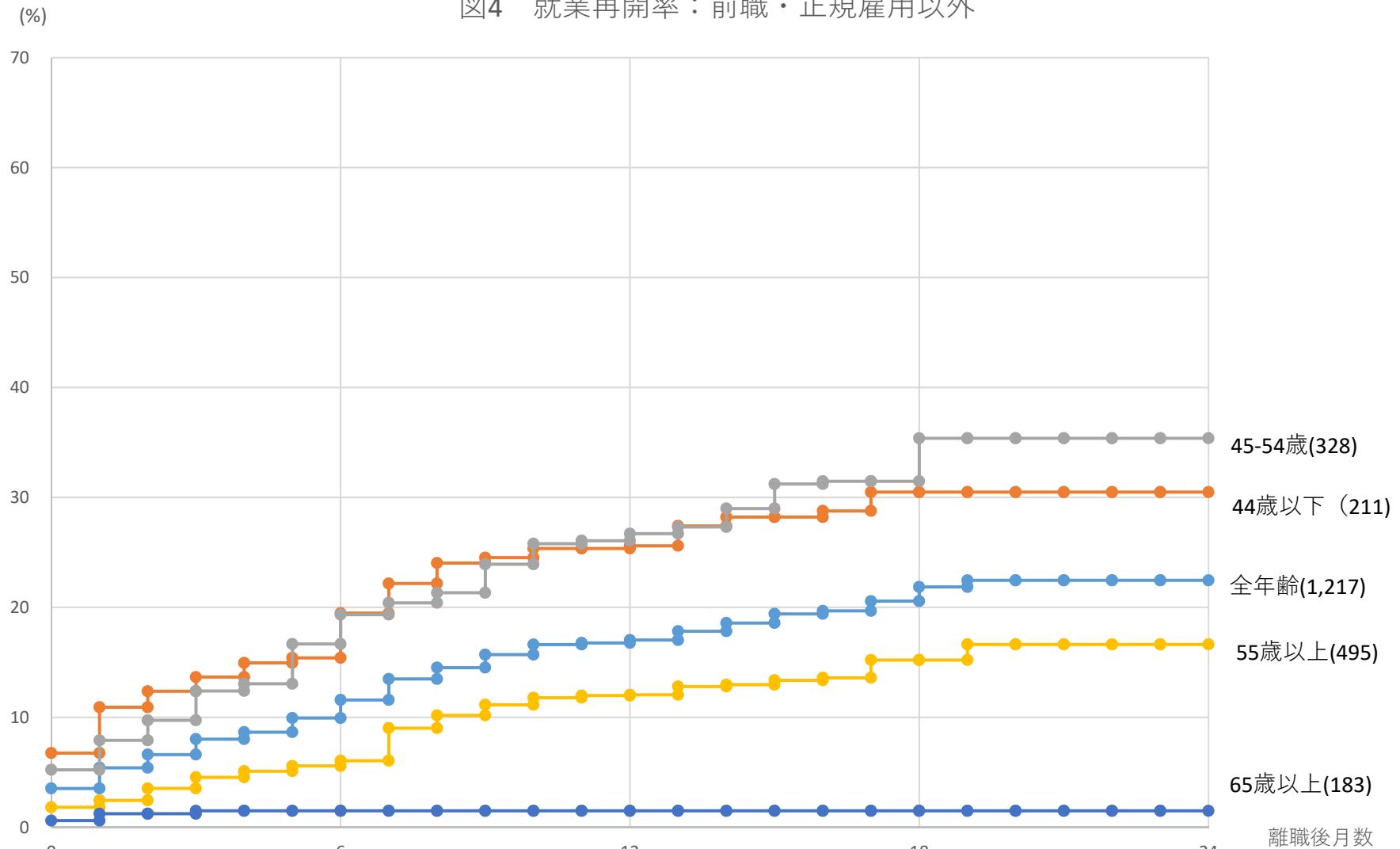


図3 就業再開率：前職・正規雇用



注：（ ）内は、標本数

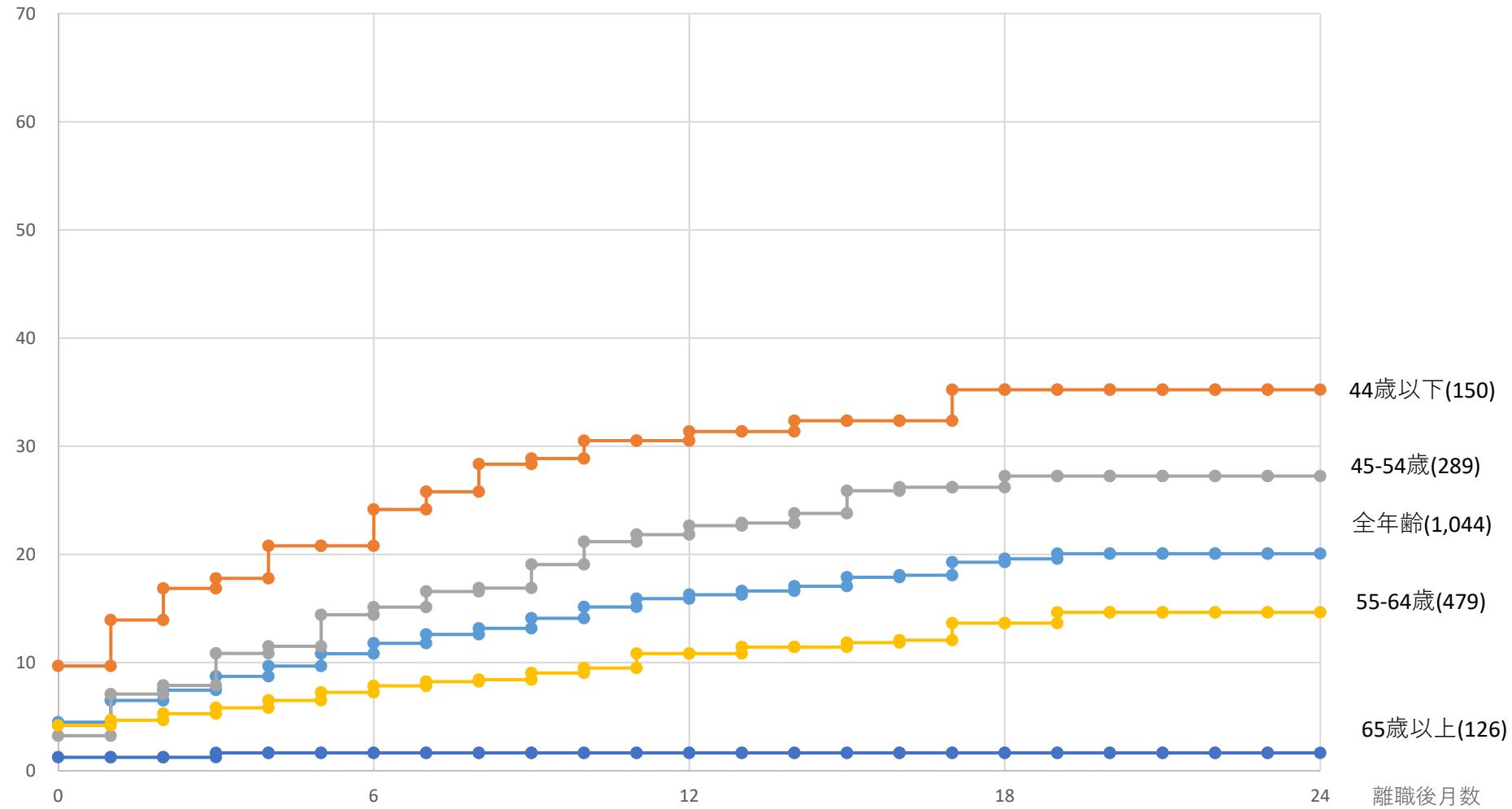
図4 就業再開率：前職・正規雇用以外



注：（）内は、標本数

(%)

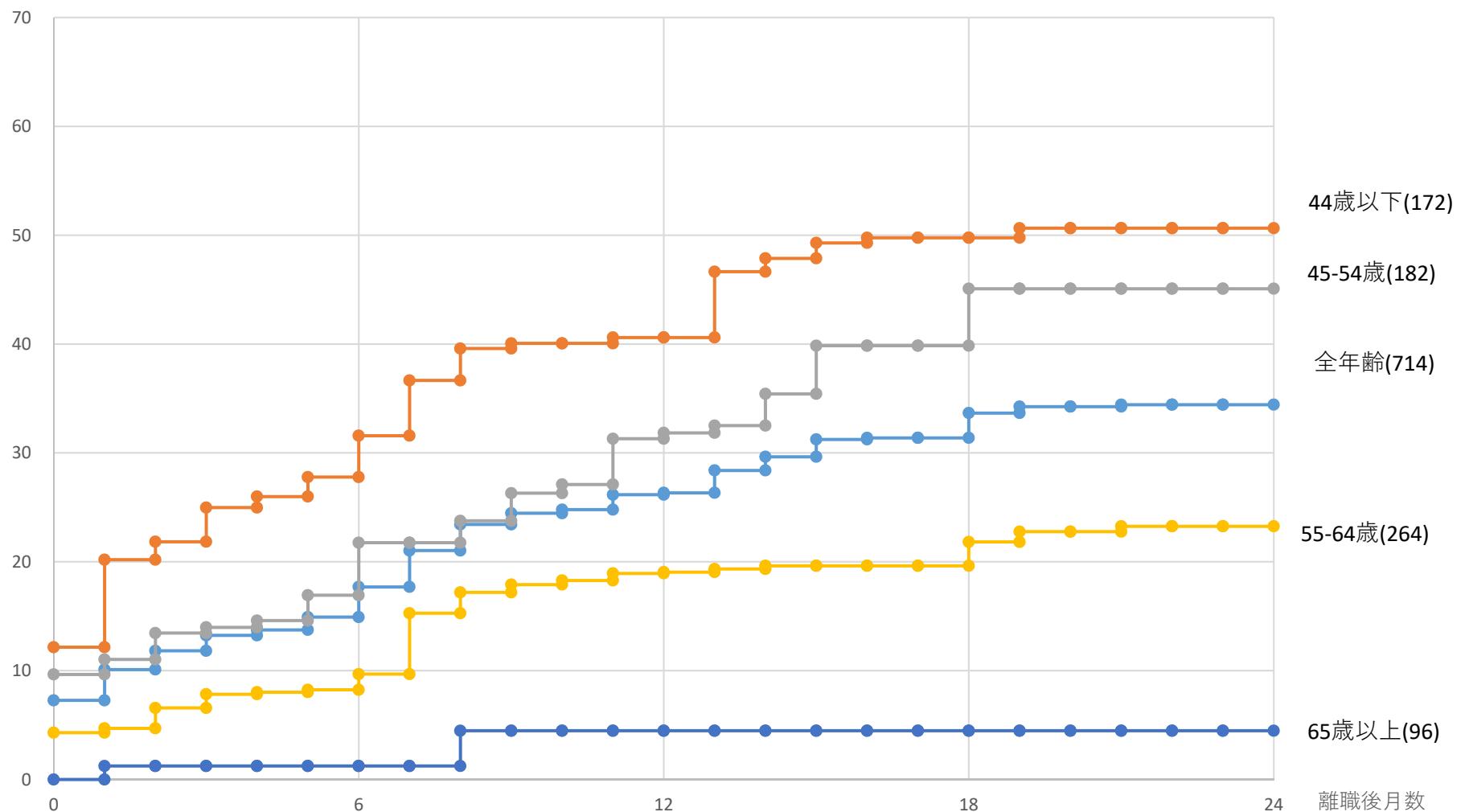
図5 就業再開率：介護継続者



注：（ ）内は、標本数

(%)

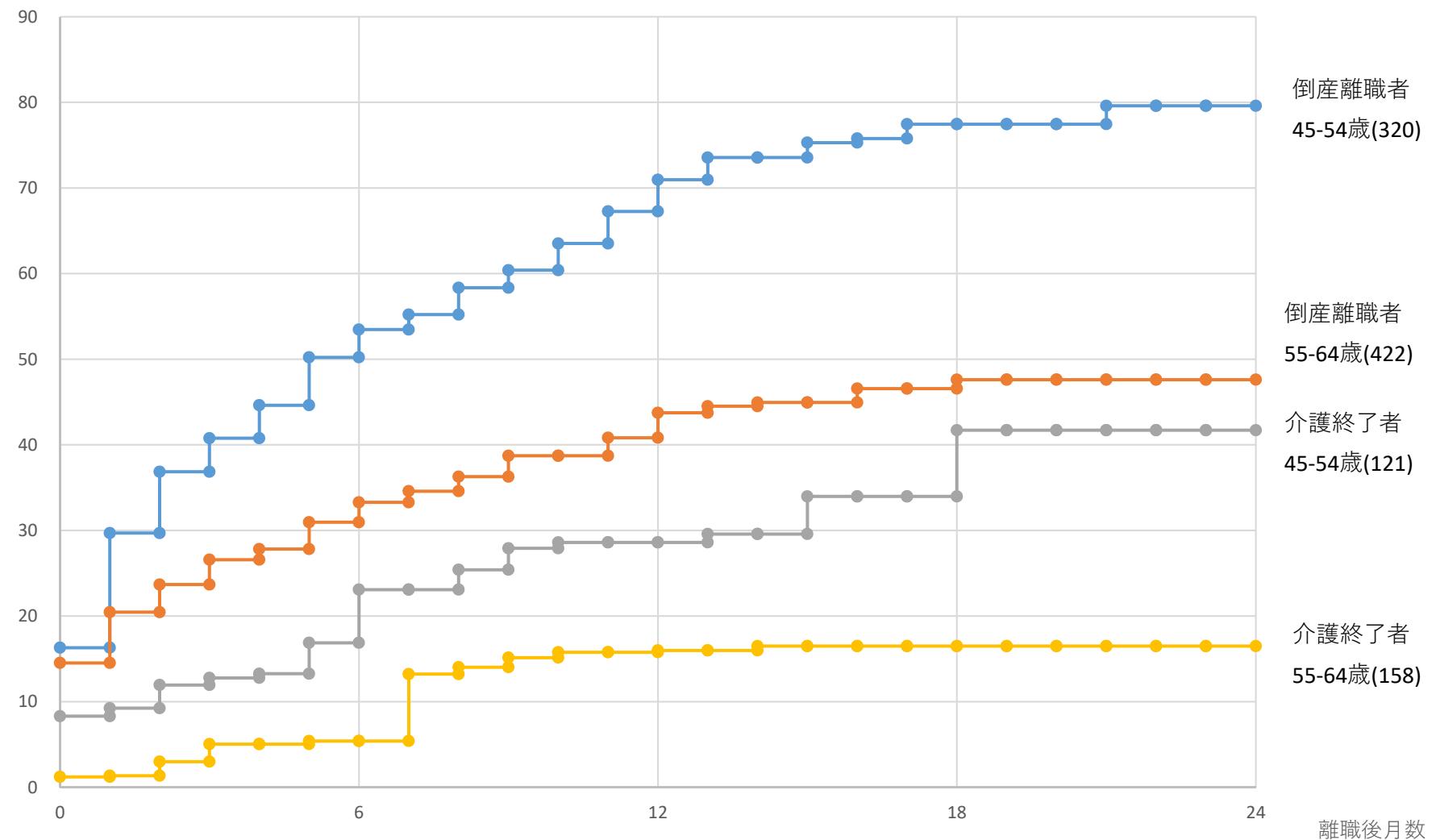
図6 就業再開率：介護終了者



注：（ ）内は、標本数

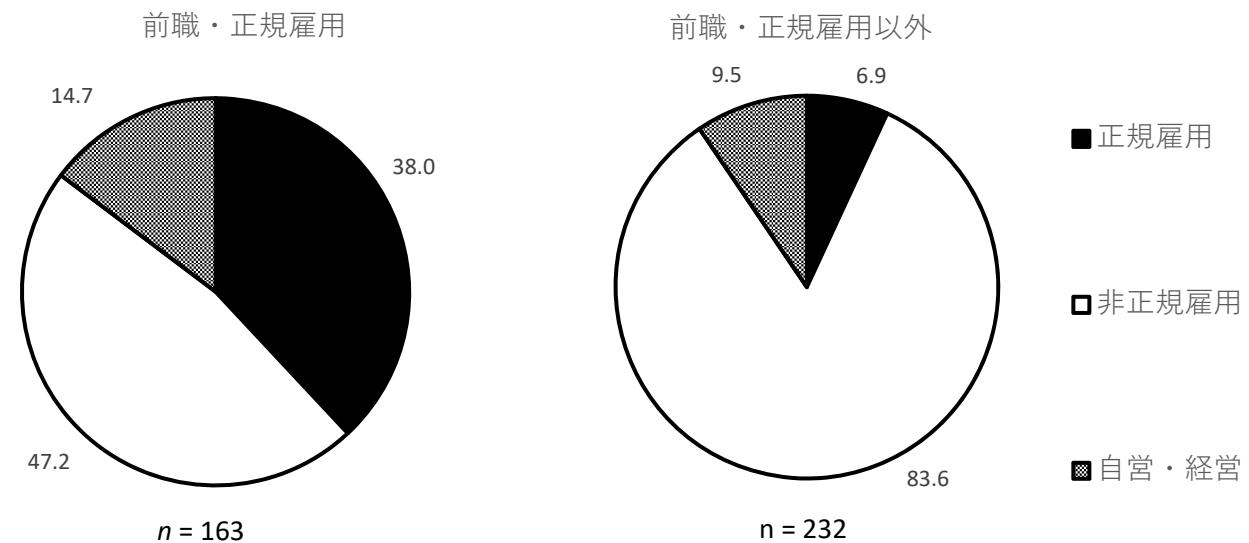
(%)

図7 就業再開率：介護終了者と倒産離職者



注：対象は、女性の前職・非正規。()内は、標本数。

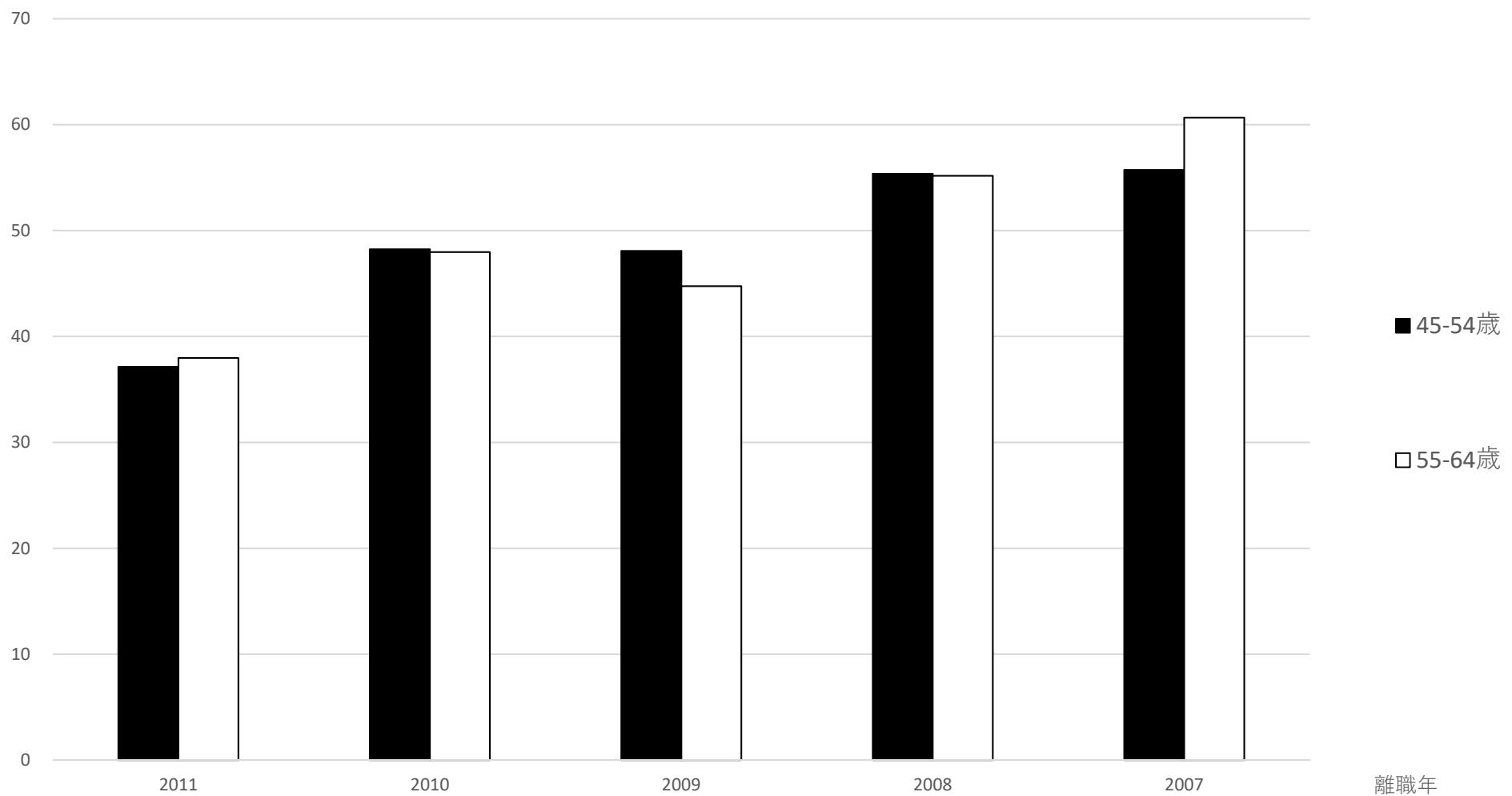
図8 就業再開者の就業形態内訳(%)



注：対象は、生存関数の推定で用いた標本のうち就業を再開した者

(%)

図9 總職年別・調査時点で介護をしていない者の割合



注：各年は、前年10月から当年9月まで。調査時点は2012年10月。対象は、前職・非正規雇用の女性で介護離職者。

表1 離職後24ヶ月時点の就業再開者数と無業者数

離職時 年齢階級	介護離職者数 (1) 千人 (%)	就業再開者数 (2) 千人 (%)	無業者数 (3) = (1) - (2) 千人 (%)	就業再開率
				(%)
全標本				
合計	100.0 (100.0)	26.4 (100.0)	73.6 (100.0)	26.4
-44	19.4 (19.4)	9.1 (34.1)	10.4 (14.1)	44.5
45-54	25.4 (25.4)	9.3 (35.4)	16.1 (21.8)	34.8
55-64	40.6 (40.6)	7.6 (29.2)	33.0 (44.8)	17.9
65-	14.5 (14.5)	0.4 (1.4)	14.1 (19.3)	2.8
正規雇用				
合計	28.0 (100.0)	9.8 (100.0)	18.2 (100.0)	34.6
-44	5.7 (20.3)	4.0 (36.3)	1.7 (10.6)	63.8
45-54	7.4 (26.4)	2.6 (29.7)	4.7 (24.4)	32.8
55-64	13.8 (49.4)	3.0 (32.9)	10.8 (59.3)	20.2
65-	1.1 (4.0)	0.1 (1.1)	1.0 (5.8)	9.5
正規雇用以外				
合計	72.0 (100.0)	16.6 (100.0)	55.4 (100.0)	22.5
-44	13.8 (19.1)	4.6 (29.5)	9.2 (16.4)	30.5
45-54	18.0 (25.0)	7.0 (40.7)	11.1 (20.9)	35.4
55-64	26.8 (37.3)	4.9 (28.6)	22.0 (39.5)	16.6
65-	13.4 (18.6)	0.2 (0.7)	13.2 (23.2)	1.5

表2 回帰分析で用いる変数の記述統計

性別	女性			男性			女性			男性		
前職の就業形態	正規雇用			正規雇用			正規雇用以外			正規雇用以外		
調査時点の就業形態	正規雇用	正規雇用以外	無業	正規雇用	正規雇用以外	無業	正規雇用	正規雇用以外	無業	正規雇用	正規雇用以外	無業
標本数(人)	計	2354		876			4322			356		
	就業形態別	239	653	1462	195	252	429	107	1150	3065	30	90
	構成比(%)	10.2	27.7	62.1	22.3	28.8	49.0	2.5	26.6	70.9	8.4	25.3
												66.3
調査時点の年齢												
44歳以下	35.1	19.1	10.5	40.5	13.9	7.5	30.8	15.8	9.8	33.3	14.4	14.4
45-54歳	34.7	26.6	15.5	28.2	19.8	13.5	34.6	35.9	24.1	36.7	27.8	18.2
55-64歳	30.1	54.2	73.9	31.3	66.3	79.0	34.6	48.3	66.2	30.0	57.8	67.4
離職時の年齢												
44歳以下	60.3	40.7	19.0	64.6	27.0	15.9	58.9	38.0	20.6	66.7	33.3	23.3
45-54歳	33.9	45.9	52.3	25.6	50.0	33.3	38.3	48.3	50.2	20.0	36.7	38.6
55-64歳	5.9	13.3	28.7	9.7	23.0	50.8	2.8	13.7	29.2	13.3	30.0	38.1
配偶者あり	58.6	70.3	74.6	62.6	57.1	47.1	62.6	75.8	79.9	63.3	50.0	34.3
離職期間												
1年未満	56.5	45.8	8.6	74.9	56.3	14.7	57.0	46.7	11.6	66.7	63.3	19.9
1-2年	20.9	17.9	8.0	12.8	15.5	11.9	14.0	18.5	10.7	13.3	21.1	14.8
2-3年	10.9	11.5	8.5	3.1	8.3	13.1	9.3	11.2	11.3	10.0	5.6	11.9
3年以上	11.7	24.8	74.8	9.2	19.8	60.4	19.6	23.6	66.4	10.0	10.0	53.4
介護終了者	72.0	70.3	47.7	66.2	61.1	40.8	74.8	73.8	49.8	83.3	67.8	37.3
大学・大学院卒	10.5	8.9	12.2	34.9	36.5	29.8	6.5	6.8	6.9	43.3	26.7	23.7
失業率	4.3	4.2	4.3	4.1	4.2	4.4	4.1	4.2	4.3	4.5	4.2	4.6
2000年以降	82.8	86.2	87.6	86.7	86.5	93.7	85.0	90.3	90.3	90.0	86.7	91.9
2006年以降	51.9	45.0	52.9	52.8	52.8	69.9	45.8	57.8	63.1	46.7	57.8	69.5
地域ブロック												
北海道・東北	19.2	19.1	17.4	13.8	18.7	11.7	11.2	10.3	14.0	0.0	11.1	15.7
関東	18.0	19.9	19.7	21.0	13.1	16.6	20.6	18.7	16.8	23.3	16.7	12.7
北陸・東海	7.9	14.4	13.1	12.3	16.7	18.6	15.0	17.4	18.4	23.3	18.9	16.5
近畿	7.9	11.6	14.8	9.7	11.9	16.1	12.1	16.7	17.3	13.3	5.6	15.7
中国・四国	23.8	19.1	19.4	22.6	19.0	19.8	19.6	16.9	16.5	13.3	27.8	16.9
九州・沖縄	23.0	15.8	15.6	20.5	20.6	17.2	21.5	20.1	16.9	26.7	20.0	22.5

注: 対象は60歳未満。標本数(人)以外の値の単位はすべて%。調査時点の年齢は、回帰分析では用いないが参考のため掲載している。

表3 離職前後の就業状態の変化の決定要因(多項ロジットモデル)

性別・前職就業形態	女性・正規雇用			男性・正規雇用			女性・正規雇用以外			男性・正規雇用以外		
従属変数: 就業状態	正規雇用	正規雇用以外	無業									
	限界効果											
離職時の年齢 <55-64歳>												
45-54歳	0.045 **	0.012	-0.058 **	0.036	0.077 +	-0.113 **	0.012 **	0.069 **	-0.081 **	0.054 +	0.044	-0.098 *
44歳以下	0.116 **	0.026	-0.142 **	0.216 **	0.001	-0.217 **	0.035 **	0.095 **	-0.130 **	0.154 **	-0.020	-0.134 +
配偶者あり	-0.063 **	-0.001	0.064 **	0.071 *	0.077 +	-0.147 **	-0.018 **	-0.005	0.022 +	0.122 **	-0.002	-0.120 *
離職期間 <1年未満>												
1-2年	-0.045 **	-0.103 **	0.149 **	-0.100 +	-0.041	0.141 **	-0.017	-0.134 **	0.150 **	-0.088 **	-0.074 +	0.162 **
2-3年	-0.117 **	-0.134 **	0.250 **	-0.133 *	-0.152 **	0.285 **	-0.016	-0.241 **	0.257 **	-0.067	-0.245 **	0.312 **
3年以上	-0.191 **	-0.459 **	0.650 **	-0.263 **	-0.339 **	0.602 **	-0.053 **	-0.572 **	0.626 **	-0.087 **	-0.532 **	0.619 **
介護終了者	0.035 **	0.088 **	-0.123 **	0.070 +	0.059 +	-0.130 **	0.001	0.099 **	-0.100 **	-0.019	0.137 **	-0.118 *
大学・大学院卒	0.001	-0.038	0.037	0.040	0.040	-0.080 **	-0.006	-0.023	0.029 +	0.088 **	-0.031	-0.057
失業率	-0.002	-0.037 **	0.039 **	-0.023	-0.016	0.039 *	-0.005	-0.024 **	0.029 **	0.010	-0.033	0.023
トレンド	-0.013 *	-0.056 **	0.069 **	-0.026 **	-0.056 **	0.082 **	-0.005 **	-0.068 **	0.074 **	-0.027 **	-0.058 **	0.085 **
2000年以降	0.056 *	0.317 **	-0.373 **	0.177 **	0.177 *	-0.354 **	0.025 *	0.363 **	-0.388 **	0.219 +	0.170 +	-0.389 **
2006年以降	0.061	0.125 **	-0.186 **	0.121 *	0.177 +	-0.297 **	0.007	0.207 **	-0.214 **	0.146	0.186	-0.332 *
地域ブロック	Yes											
標本数	2,354			876			4,322			356		
疑似決定係数	0.364			0.387			0.361			0.410		
対数尤度	-120,102			-56,317			-193,890			-19,763		

注: 対象は60歳未満。<>はレファレンス・グループ。有意水準 **: 1%, *: 5%, +: 10%。